

としょかん福袋



テーマごとに司書が選んだ3冊の本やCDを、中身が見えないように包装して、福袋としてお貸しします。中身は見てのお楽しみ♪

【日時】平成30年12月15日(土) 午前9時～ なくなり次第終了

- ★ 福袋は、大人用80セット、子ども用80セットを用意しています。なお、お一人様2セットまでとさせていただきます。
- ☆ 福袋の中にはくあたり>として、図書館友の会が2月に開催予定の【リサイクル本バザー】の喫茶コーナーで利用できる《呈茶券》が入っています。
- ★ 12月15日(土)から図書の貸出冊数が無制限になります。

休館日

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■は本館の休館日です

<年末・年始の休館日>

12月29日(土) から1月3日(木) まで

12月のギャラリー

今月はギャラリーの予定はありません。

編集後記

みなさん、「下関のふぐは愛知産」という噂を聞いたことがありますか？同様に「京都でお茶を買ったら西尾産だった」なんて噂も、西三河の人なら一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。噂なので真偽は定かではありません。けれど、このような噂がささやかれるのは、「東京・大阪に比べて存在感は薄いけど、愛知県のもものは一流」という県民のプライドから生まれたものではないか、と個人的に思っています。(か)

けやきどおり通信 (No.303)

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057
碧南市鶴見町1-70-1
Tel: (0566) 41-0894



けやきどおり通信



2018年12月 ~ No.303 ~

もっと愛知のこと

自慢しても

ええじゃないか。

みんなで知ろう、楽しもう、愛知

有名アーティストのライブツアーが愛知県では開催されないという、いわゆる「名古屋飛ばし」。他県の人からすれば、愛知県は、東西の通過地点に過ぎないのかもしれない。

でも、ものづくりが盛んで、個性豊かなグルメがあり、有名戦国武将の出身地で、自然豊かな海と山がある…。こんなにも良いところがたくさんあるのに、「魅力がない」なんて言われるのは、自己PR不足が一因かもしれません。これからは、多くの人に、愛知県に興味・関心を持ってもらえるよう、そして、愛知県の良さに気づいてもらえるよう、どんどん愛知を自慢していきましょう。



『ニッポンを解剖する!名古屋東海図鑑』 JTB パブリッシング (291.5ニ)

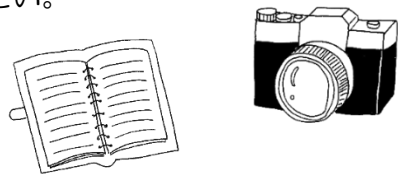
いざ「愛知県って何が有名なの?」とたずねられたとき、パッと答えられない時ってありませんか?せっかくの愛知県自慢のチャンスを逃さぬよう、この本で予習しておきましょう。尾張徳川家の歴史から主要な工業製品に有名な建造物まで、いろいろな面から愛知県を紹介しているので、各分野しっかり覚えておけば、相手の興味に合わせて自慢できます。また、「食」の話題は鉄板ですね。「名古屋人の食品ストック」や「名古屋名物、食事のお作法」などのコラムも参考にどうぞ。

『愛知あるある』
立花 千春/著 黒茶 鯖虎/画
T0 フックス (361.4ア)

ある意味、声に出して読みたい本です。愛知県民同士なら「そうそう、あるある」なんて、おしゃべりしながら読み進めていくのも楽しいでしょう。他県民相手なら、愛知県の面白ネタをはさみつつ、どんどん自慢してやりましょう。

『名鉄沿線ディープなふしぎ発見』
小林 克己/監修
実業之日本社 (291.5メ)

碧南市に就職して名鉄三河線を利用する機会が増えました。景色がゆっくり流れる、のんびりした良い路線です。この名鉄三河線、知立から碧南までの区間は「海線」、知立から猿投までの区間は「山線」と呼ばれています。地元では常識らしいのですが、私はこの本を読んで初めて知りました。さらに、「山線」は、東京にある有名な老舗バーのオーナーが三河出身だったことから、地元発展のためにと敷設した路線なのだから。実は私、このバーに行ったことがあったので、敷設のエピソードを知って「山線」に興味湧いてきました。みなさんも、身近な鉄道の不思議と魅力を発見してみてください。



『静岡・愛知ご朱印めぐり旅 乙女の寺社案内』
ふじのくに倶楽部/著 メイツ出版 (175シ)

最近、愛知県津島市にある牛玉山観音寺のご朱印が、「アートなご朱印」として話題です。本書でも、多くのご朱印が紹介されていますが、それぞれに味があって、確かに集めたくなる気持ちもわかります。また、ご朱印以外にも、かわいいお守りや神社周辺にあるカフェやスイーツまで紹介していますので、神様と甘いものに癒されたい人にオススメです。

『いつか来る季節 名古屋タクシー物語』 広小路 尚祈/著 桜山社 (Fヒ)

『なごやじまん』 大竹 敏之/著
ぴあ株式会社中部支社 (291.5ナ)

名古屋人が愛する、老舗百貨店「松坂屋」の包装紙をブックカバーにしたような見た目のこの本。地元の人に、もっと名古屋を好きになってもらいたい。そして、大いに名古屋を自慢してもらい、「魅力がない街」のイメージを覆したいという趣旨で書かれています。読んでいて感じるのは、「ナナちゃん人形」のズバ抜けた存在感です。スタイル抜群で、あらゆる衣装を着こなすだけでなく、アゴが地面まで伸びたり、勢いよく白い鼻息を噴射するなど、スゴすぎます！くせがすごい名古屋を自慢したい方におすすめ。



『古地図で歩く名古屋歴史探訪ガイド』
オフィス ヒライ/著
メイツ出版 (291.5コ)

テレビの影響もあるのでしょうか、こういった種類の本をよく見かけるようになりましたね。この本の場合、名古屋の古い地図と現代の地図が見開きになっているので、比較がしやすいです。また、現代の地図は、ざっくりと書かれていますが、その分、文字が大きくて見やすいです。地区の歴史や史跡についての簡単な説明もあるので、古地図散歩を始めようと思っている人向きです。ちなみに、名古屋の歴史ある町並みを散策するなら、「四間道（しけみち）」周辺が個人的にオススメです。

『竹島水族館の本』
蒲郡市竹島水族館/著 風媒社 (480タ)

「竹島水族館」といえば、いまや三河の自慢と言っても過言ではないでしょう（きっと）。多くのメディアで取り上げられるよりも前に、私も行ったことがあります。歴史を感じさせるレトロな外観に、館内には手書きの解説がたくさん貼ってあるのを見て、「この施設も予算が厳しいのかな？」などと思っていました。でも、この本にも書いてあるように、この手書きのカンバンこそ人気となった理由の一つなのです。さらに、小さな水族館とあなどるなかれ、アシカショーも見られます。アシカと飼育員との絶妙な掛け合いを笑って見ていましたが、バックヤードではそんな苦労もあったのか！と感動？するようなエピソードもあり、竹島水族館の知られざる魅力が詰まっています。



『愛知のおいしい手みやげ』 フレミア・ワース (596.65ア) 旅の本

相手の家族構成は？好き嫌いは？などなど「手みやげ」を選ぶときは、考えなければならないことが多く大変ですね。そんな時は、この本を参考にしてみるのも良いかもしれません。地元で愛されるお菓子から調味料まで、地区ごとに紹介されています。贈る前に自分の舌で確かめてみるのもあります。



***** 《年末・年始の図書館休館のお知らせ》 *****

12月29日(土) から 1月3日(木)まで 休館します。

休館中の返却はブックポストをご利用ください。ただし、AV資料（CD、DVD、複製絵画、おもちゃ）、大型絵本は破損の恐れがあるため、図書館が開館してから、カウンターへご返却ください。

『会える!東海のどうぶつ』
ぴあ株式会社中部支局 (480ア)

愛知県で動物園といえば、「東山動植物園」でしょうか。イケメンゴリラが有名ですが、個人的にはコアラのイメージです。また、知人ぞ知る？「世界一怖いもの知らずの動物」として、ギネスブックにも載った「ラータル」というイタチ科の動物を飼育しているのも、国内ではここだけなんだとか。こちらのガイドブック、メジャーな動物園や水族館だけでなく、どうぶつカフェやお店の看板犬なども紹介されています。モフモフに癒されたいと、日々思いを募らせている方は、チェックしてみてください。

